

令和5年度 大刀洗町 町政報告会 まとめ

区分	意見等	回答
職員体制	職員数が多いと思うがいかがか。	正規職員数は全国の同規模団体に比べて最も少ない職員数です。しかしながら、近年は災害等による各種業務も増えており、ここ10年ほどは職員数は増加しています。最も少ないときは80数名でしたが、今は90名台であり、保育園民営化前の110名台に比べれば減っています。一方、会計年度任用職員は増加傾向にあります。補助的な業務だけではなく、一定の専門性が必要な業務について、専門職種や国や県等の各種機関を退職したベテラン職員を任用しています。また、地域おこし協力隊等の制度も活用し、外部人材で国の交付税措置や補助金の対象となる職員を中心に任用しています。
	役場職員の勤務について、毎日夜遅くまで残業している部署もあるようだが、担当課長は把握しているのか。	役場の業務は繁忙期があったり、災害対応、コロナ禍への対応、国の事業に伴って突発的に発生する業務もあり、それを今いる職員の中でやらざるを得ない状況があります。そのため、時期や部署によっては長時間の時間外勤務（残業）を強いられています。このことについては、課・係内で業務分担したり、応援態勢をとるなどに対応しています。なお、時間外勤務は、事前に担当課長の時間外勤務命令が必要であり、担当課長及び総務課長は、職員の時間外勤務の状況を把握するよう努めています。
	職員の中には、体調不良による通院や休職者もいると聞くと、行政を動かすのは職員ですので、担当課長は、職員の健康管理にも気をつけてもらいたい。住民の健康ももちろん大事だが、職員も健康に仕事することで行政だけでなく町全体が豊かになると思う。	職員の健康管理は、役場全体のパフォーマンスを上げるために基本となるものです。人事評価においても管理職の目標には所属職員の健康管理等の項目も入れて取り組んでいます。また、職員数についてもここ数年は増加していますが、まだまだ十分ではなく、引き続き、役場全体として取り組んでまいります。
財政	町の財政が健全であることは理解できたが、どこまで基金を増やしていくのか。もっと町のために使ってほしい。	基金は積み上げれば良いというものではありません。現在の基金の増加はふるさと納税が大きく寄与していますが、ふるさと納税制度がいつまで続くのか、国において一般財源化の検討など今後の制度変更も想定されるところです。このため、全てを経常経費につぎ込むことは好ましくないと考えていますが、必要な事業については活用していくべきだと考えています。
災害・防災	ハザードマップに業者広告が載っており、そのせいで、表示されていない地域がある。	ご指摘のハザードマップについては、役場以外の民間業者が作成したものです。町としては、今年度新たな防災マップを作成し、令和5年度中に配布するようになっています。
	筑後川の堤防の増強といった防災対策に力を入れてほしい。	筑後川の堤防の強化を含め防災対策については、毎年国に強く要望しています。国もより危険な場所から優先して行っているのが現状ですが、今後も引き続きしっかり伝えていきます。
	床島区に排水ポンプを設置するとのことだが、どういった計画ですか。	大雨災害時に水を排水するためのポンプを床島区に設置するよう現在設計をしています。
	筑後川からのバックウォーターを防ぐためにも江戸橋下流の左岸に堤防を設置してはどうか。	江戸橋下流の堤防設置については、以前も要望をいただいておりますが、左岸に堤防を整備した場合、江戸橋から上流の水位が上昇し、越水、氾濫等、民家への影響が懸念されることや、朝倉市側に豪雨があった際の排水箇所が二又川と水路のみとなり、水が引くのに時間がかかるようになることが想定されることもあり、現時点までに堤防設置の計画は定められていないところです。
	大堰地区は今後も大雨時の洪水は避けられないのか。	大堰地区の洪水対策としては小石原川の整備に加え、筑後川本川の水位を如何に低下させるかが大きな課題だと認識しています。このため、国に対し流域の関係市町村とともに筑後川水系河川整備計画に基づく治水対策事業の早期整備と、筑後川本川はもとより支川も含めた堤防改修や河道掘削による流下能力の確保、支川の氾濫を防ぐための総合的な内水対策の推進など抜本的な治水対策の推進に加え、筑後川上流の玖珠川上流域での治水対策、流量制御施設整備を速やかに検討するよう求めています。併せて、筑後川水系河川整備計画の上位計画である筑後川水系河川整備方針は昭和28年から平成13年までの雨量を基に計画が定められており、激甚化している近年の状況が十分に反映されていないことから、直近の平成29年の九州北部豪雨以降の雨量を基にした方針とするよう計画の見直しを求めているところです。
	大雨時には、床島用水の水門を少し開けるだけでも冠水は軽減されるのではないかと。	上流と下流のバランスも考える必要があり、下流の方との協議が必要と思われます。
	大雨の際には、ダムでの事前放流が堤防を守る意味からも重要だと考えるがいかがか。	ダムの事前放流は、ダムごとに事前放流により貯水位を低下させる事のできる限度の水位があらかじめ定められており、事前放流の実施に際してはダム上流域で基準値以上の雨が降ると予測され、かつ、ダムの洪水調節容量、利水容量の空き容量では調節しきれないと予測された場合に実施することとされています。しかしながら、現状ではダム上流域という比較的狭い範囲での精度の高い降雨予測、特に線状降水帯の発生予測が難しいことが事前放流の実施上の大きな課題となっており、水資源機構筑後川上流総合管理所長に対し、線状降水帯の発生も想定した事前放流の基準見直しと柔軟な防災操作について要望をしたところです。
	筑後川の堤防の強化はどうなっていますか。	国土交通省の筑後川河川事務所が工事を行っており、大刀洗部分についても計画はありますが、より危険度の高いところから優先的に行っている状況です。大刀洗部分についても早期に着手してもらえよう引き続き要望していきます。
	河川の浚渫や草等が生い茂っているところの伐採をお願いしたい。	大雨の後に町内各所を見てまわって、言われるようなところが各所にあります。浚渫が必要なところ、伐採が必要なおところありますので、できることから対応していきたいと思っております。
	小石原川の江戸橋下流の浚渫をお願いしたい。	国土交通省の筑後川河川事務所にて早期の浚渫を要望していきます。
大雨時に住民が避難する場所はあるが、車や農機具を避難させる場所をどうにかできないか。	大堰からは遠いが、車の避難場所としては、運動公園の駐車場を指定しています。	

令和5年度 大刀洗町 町政報告会 まとめ

区分	意見等	回答
災害・防災	西原区と鳥飼区間の筑後川の堤防が弱って危険だという話を聞いたが大丈夫か。	筑後川の堤防については、国土交通省の筑後川河川事務所にすべての堤防を検査していただいています。西原区と鳥飼区間の堤防も検査していただいておりますが、北野側のより危険性の高いところから堤防を厚くしたり、高くしたりする工事をしているところです。
	憩いの園大堰交流センターや大堰保育園が水害の被害に遭っているが、そもそも大堰交流センターは避難所のはずで、場所を移すことは考えていないか。	比較的新しい施設ですので、取り壊して浸水しない高さまで上げたり、建て替えたりというのは、現実的には難しいと思っています。現在、止水壁を施設の周りに設置しており、止水壁のやり方等改善すべきところは改善して少しでも浸水を防げるようにしたいと考えています。
	大堰交流センターは、地元の住民の方の避難所として機能するよう考える必要があるのではないか。	災害は、大雨だけではなく台風や地震も考えられ、その際は、大堰交流センターを避難所として考えています。大雨の際には、中央公民館を避難所として使用していただくようお願いをしているところです。
	水害対策についての町の考えは。	基本的には、筑後川本川の水位を下げるのが重要です。日田市の上流では、大山川には松原・下釜ダムや大山ダムがありますが、玖珠川の上流部にはないため、玖珠川に一定程度の水を抑制できるような施設ができないかということ流域市町村で国土交通省に要望しています。併せて、線状降水帯の発生も想定した、より柔軟な江川ダムや小石原川ダム、寺内ダムの事前放流を要望しています。
	筑後川の水害の大きな原因は筑後大堰を作ったからではないのか。筑後大堰から上流は被害を受けており、下流は被害がない。	筑後大堰建設と水害の関係は分かりませんが、できたものを取り壊すというのは非常に難しいことです。また、下流に全く被害が無いわけではなく、今回、大木町等も被害がでています。現在、大刀洗町では、国に筑後川の浚渫を要望するとともに、ため池の浚渫や県による調節池の整備など、どうすれば少しでも被害がでないかを考えています。
	筑後川の堤防の強度は大丈夫か。	堤防の強度については、国土交通省にパイピングのリスクを含めてすべて調査をし評価をいただいています。守部区でいうと川の瀬橋から下流の小石原川右岸については、国土交通省としても堤防強化をする必要があるということで計画があり、今後なされるとのことです。
	大雨時には、役場職員は町内を見て回っているのか。	まず、大雨の際には、今は河川等の各ポイントに24時間見れるカメラでチェックし、大雨警報が発令されたり、道路が浸水しだすと、建設課等の職員が道路パトロールや河川パトロールを行っています。また、消防団に地元を巡回してもらい連絡を入れていただき、状況を確認の上、対応しているところです。
	河川ではなく道路の側溝や水路から水が溢れて困っている。水門の調整をお願いしたい。	時間雨量が50ミリを超えるような雨が降るとどうしても側溝等では水がはききれず、河川からの越水がなくても内水氾濫が起きているところは町内何か所もござります。危ない状況ということは認識しており、水門の調整等をお願いしていきたいと考えています。
	栄田橋上流の右岸の堤防について対応をお願いします。	栄田橋上流の左岸については、以前越水しそうになり、県に強化等を要望したが、右岸については、聞き取り調査をさせていただき、県へ対応するよう要望していきたいと思っております。
	避難指示を出す区域はどのようにして決めているのか。	小石原川であれば、右岸の堤防の高さと左岸の堤防の高さが違い、左岸の方が低いこともあり、基本的には、左岸の地域に避難指示等を出しているところです。
	大雨の時に浸水している場所は把握しているのか。	様々な情報をもとに把握するよう努めており、町で確認した箇所は地図に落とし込んで、道路の冠水状況等をホームページに掲載しています。また、ホームページでは、過去の水害の時にどこが浸水したのかというものがアーカイブで見れるようになっていますので、一度ご確認いただければと思います。
	大雨時に側溝の水が溢れて困っている。	現地を確認させていただき必要な対応を検討させていただきます。
	小石原川の堤防のかさ上げや河川の拡幅をしてはどうか。	堤防のかさ上げであったり河川の拡幅については、河川を管理している国土交通省筑後川河川事務所に毎年町から要望しています。しかしながら、国の河川改修の優先順位などもあり、まだまだ十分な整備に至っていないというのが現状です。近年の雨の降り方、降雨量等を踏まえた整備計画への変更を含め今後も強く要望していきます。
	大雨時には、家に水が入ってこないように自分でブロックや土嚢を積んだり個人でできることは精一杯やっているが、個人でやるにも限界がある。そういった個人での取組へ町として補助をする制度は今後考えられないか。久留米市には、水害への補助制度があるような事を聞いた。	個人宅への浸水を止めるための、例えば止水板等の設置への補助制度は、本町には現在ありませんので、補助についてどのようなやり方ができるのかなど、久留米市や近隣自治体に確認し検討させていただきます。
	河川の堤防に草が生い茂っており、堤防の水門の見回り時に車も通行できない。至急草を切ってもらいたい。	至急対応します。
	小石原川は、江戸橋の上流と下流では川幅が全然違うため、下流側の川幅の拡幅はできないのか。	堤防の設置や川幅の拡幅については国に要望しています。また、現在の筑後川河川改修計画の前提となっている降雨量が、ここ数年の降雨量を前提にされていないので、それを前提とした河川改修計画に見直すよう国に要望しています。
陣屋川と大刀洗川は、国土交通省が排水ポンプを設置しているが、小石原川も設置してはどうか。	小石原川ほどの河川に水門を作りポンプを設置するとなると、通常の流下能力以上のポンプは設置できませんので、筑後川本川の水位が上がって水門を閉めると、逆に水が溢れてしまうことも考えられます。	
河川に樹木が生い茂りやぶのようになっているため、伐採をお願いします。	指摘箇所については十分認識をしており、竹や樹木が繁茂しているところについては、県に伐採を要望していますし、これからも強く要望してまいります。また、県管理河川部分の堤防の強化についても併せて要望しています。	

令和5年度 大刀洗町 町政報告会 まとめ

区分	意見等	回答
災害・防災	水害対策をお願いします。	近年の雨の降り方が、過去の常識や経験が通用しないような雨の降り方になっていることもあり、河川やダムを整備だけではすべて解決できる訳ではないので、国や県にも伝えていきたいと思ひますし、町としても出来ることは一つずつでもやっていきたいと思ひます。
	小石原川東側地域の避難所（集会所）を稲敷地区に作るために国・県から予算がでる方法はないか。	国・県の予算を使ってそういう広域的な避難場所なり防災拠点をやるということになれば、自治体の枠を超えた広域的な位置づけ等をしないと難しいのではないかとと思ひます。町として出来ることは、高齢者等避難も含めて早め早めに避難の情報を出していくことと朝倉市と協定を結び、南陵中を避難所として使わせてもらえるようにやっているところです。
	鵜木川河川内の雑草について、以前から浚渫の要望は出ていると思ひますがどうなっているのか。	鵜木川については、網川橋から上流に向かって浚渫していますので、もうしばらくお待ちいただければと思ひます。
	筑後川や大刀洗川が越水したらどの地域が浸水するのか。	どこの河川が氾濫したときに、お住まいの地域が浸水するのかは、ハザードマップ等でご確認いただきたいと思ひます。なお、今年度は、町で新しいハザードマップを作成して配布する予定です。
	大刀洗川の堤防の嵩上げはどうなっているのか。	大刀洗川左岸の堤防の嵩上げについては、鵜木区から要望をいただいております、町からも県土整備事務所に要望をあげています。
	水門操作について、道路の冠水により行き来できなかつたりするため、水門操作が危険を伴う。	水門の管理等について、大雨で道路が冠水し水門まで行けないとか、高齢化で難しくなってきたという話を他の地域でもお聞きしています。遠隔操作等ができれば、安全に容易に管理しやすくなるだろうと思ひますが、こういったやり方がいいのかというのは、費用面も含めて検討させていただきたい。
防災行政無線	防災行政無線について、大雨時に家の中にいるとほとんど聞こえなかった。	激しい雨と風が吹いていると聞こえずらいと思ひます。防災行政無線だけでは完結しないので、同じ情報は、携帯電話をお持ちの方にはエリアメールで配信しています。また、テレビのdボタンやLINE、町のホームページ等にも掲載しています。なお、防災行政無線放送内容確認ダイヤル0942-77-2622で防災行政無線の放送内容を確認することができます。
	防災行政無線について、豪雨の際はあの程度の音量じゃ聞こえない。	毎日午後5時に流しているものは音量を抑えていますが、災害時には、最大音量で流しています。ご指摘のとおり、激しい雨と風が吹いていると聞こえずらいと思ひます。防災行政無線だけでは完結しないので、同じ情報は、携帯電話をお持ちの方にはエリアメールで配信しています。また、テレビのdボタンやLINE、町のホームページ等にも掲載しています。なお、防災行政無線放送内容確認ダイヤル0942-77-2622で防災行政無線の放送内容を確認することができます。
	自宅の近くに防災行政無線があるため、午後5時の放送に毎日びっくりしてしまう。曲の変更はできませんか。	音量については調整できますので、地域の方と協議させていただくなど検討させていただきたい。曲については、現在無料で使用できる曲を使用しているため、もっと耳障りのいい曲に変更できないか検討します。
	防災行政無線の使い方をもう少し考えてほしい。	防災行政無線は、機械的な音声で流しているが、肉声での放送もできるため、災害に応じて対応していきたいと考えています。
	防災行政無線は聞き取りづらいが効果はあるのか。	防災行政無線については、大雨や強風、場所によっては聞きづらいこともあります。一つの手段ですべての人に情報が必ず届くかという難しいものがありますので、防災ラジオであったり、携帯のエリアメール、テレビのdボタン等いろんな方法を複合的に組み合わせながら情報が届くように考えています。また、これまで広報車で町内を回っていたものに比べ、防災行政無線の設置により即時性は大幅に上がったと感じています。
	防災行政無線について、先日の台風接近時だったが、聞き取りづらかった。改善なり工夫をお願いしたい。	防災行政無線については、大雨や台風ときには聞こえずらいのは認識しています。エリアメールやテレビのdボタンや町のLINEで随時情報が入ってきますので、そちらも活用していただければと考えています。防災行政無線についても改善できる点は改善してまいります。
防犯灯	防犯灯の電気料を町が補助してもらえないか。	防犯灯については、町が設置しているもの、行政区で設置しているもの等の形態があり、これまでの経緯もありますので、今後検討させていただきたい。
	防犯灯について、町が管理する分と行政区や隣組で管理する分の基準や違いは何か。また、防犯灯設置やLED化についての町への区長要望はすべて対応されているのか。	もともと集落内の防犯灯は行政区等で、集落と集落をつなぐ部分の防犯灯を町で設置していた経緯が当初はあったのだらうと思ひますが、基準等について担当部署に確認します。また設置についての区長要望についてはすべて対応していますが、区長交代時の引き継ぎ等もあり、うまく要望を把握できなかった点もありますので、今年度は区長の集まりの際に何度も説明し、防犯灯設置やLED化について要望してもらいました。今年度に要望された分はすべて対応するところで計画しています。
	防犯灯については、すべて町が管理するようにできないか。	今後の検討課題とさせていただきます。
	防犯灯のLED化をもっと推進してほしい。申請が多ければ補正予算を組んでも対応してもらいたい。	防犯灯に関しての要望は、多くの他行政区でも意見をいただいております。補正予算の対応も含めて前向きに検討させていただきたいと思ひます。
	防犯灯の要望への対応はどうなっているのか。	前年度に設置できなかった箇所が翌年度要望に反映されてなかったということかもしれませんので、今年度は、各区長に何度も説明して多くの要望を上げてもらっています。予算が不足する分については、補正予算で対応する予定です。

令和5年度 大刀洗町 町政報告会 まとめ

区分	意見等	回答
消防団	消防団は、特に災害のときには、危険箇所の見回りや対応等非常に重要な組織だと思う。運営費が厳しいようだが、町からの消防団の運営費を増額してもらえないか。	消防団については、大雨災害時には、床島区の内水排除で活動してもらったり、河川の越水しそうな箇所に土嚢を積んでもらったりと大切な組織だと考えています。運営費の増額については、来年度の予算を考える中で検討させていただければと思います。
	消防団員の選出・確保が大変。	現在、消防団員OBによる機能別分団員という火災時にサポートいただける制度を、団員定数とは別に作っています。菊池校区では、子ども達が消防団を身近なものと感じてもらえるようチャレンジ教室と消防団の交流事業をやったりもしています。消防団員の確保に向け、消防本部や消防団と一緒に考えていきたいと思っています。
	消防団には、本部分団には女性団員がいるようだが、ほかの分団には女性団員はいるのか。	現在、本部分団以外には、女性団員はいませんが、女性団員を否定するものではありません。第1分団の消防車庫については、新しく男女別の更衣室やトイレも整備しており、女性の方が入団できるような体制を整えています。
公共交通	西鉄甘木線は廃線にはならないのか。	西鉄甘木線については、西鉄・県・町で協議をしていますが、町としては、西鉄甘木線を残す方向で取り組んでいますので、廃線にするといった話はありません。鉄道がなくなるということは、通勤・通学もそうですが様々な面で大きな問題です。鉄道が廃線となった地域は一気に寂れた事例もあり、そうならないように町は今取り組んでいます。
交通政策	近隣市町村では、低額で福祉バス等を運行されていると聞きます。大刀洗ではできませんか。	大刀洗町でも町内巡回バスを試験運行したが、利用者が少なく費用対効果の面で本格運行には至りませんでした。現在は、町の財政上の支障のないやり方として、のりあい定額タクシー（ひばり号）を運行しているところです。
	のりあい定額タクシーは神代病院・新古賀病院みらい以外の町外の病院にもいけるようにできないか。	のりあい定額タクシー（ひばり号）については、町でタクシー会社に委託して実施しています。一般の方で500円、高齢者等の割引対象者は300円ですが、町内のみ運行しています。このように運用しているのは、既存の公共交通（西鉄甘木線や甘木鉄道）の運行の妨げにならないよう、既存公共交通の利用者が減らないようにしているためです。
定住促進	町内にはアパートが多く、戸建てはあまり増えていないと感じるが、転入された人が大刀洗に定着するよう宅地開発を進めてはどうか。そのほうが、大刀洗に転入してきやすくなると思う。	確かにアパートは多く、子育て世代も含めて多くの方が転入しています。一方、戸建ての分譲も増えています。町で定住促進住宅スカイラークを3棟建設していますが、そこに転入してこられた方は、町内に戸建てを建てて転居される方も多くいらっしゃいます。
	定住促進住宅スカイラークは、菊池、大刀洗、大堰に建設しているが、今後本郷校区に建設する予定はあるのか。	定住促進住宅スカイラークについては、地域の要望があれば、建設について検討させていただきたいと考えており、町側からここに建設しようという計画は今のところありません。
	行政区によっては人口が減っているが、インフラを整備することで、少しは住みよい地域になると思う。	大刀洗町は人口が増えているといっても地域格差が大きく、特にハザードマップ等で浸水想定区域には住居が建ちづらい傾向にあります。河川改修等含めハード面・ソフト面で安全な地域をいかに作っていくか、また、空き家の利活用についても地域の皆さまと一緒に考えていきたい。
	大堰校区の人口を増やす方法はありますか。	空き家の利活用等考えられますが、こうすれば解決しますという解決策は持ち合わせていないのが現状です。地域の皆様のお知恵をお借りしながらいい方法がないか考えていきたい。
	人口が増えている、子どもが増えているという報告を受けたが、大堰では増えている感覚は全くない。大堰地区には企業がないことも人口が増えない一因ではないかと考える。	人口や子どもの数については地域間の格差はあります。そういった地域を今後どうしていくかということが大きな課題だと認識しています。一つは、空き家の利活用をもっと進められないかと考えているところです。
	子どもの数が増えているということだが、どの地域が増えているのか。	子どもの数が増えているのは、アパートが増えているところや新規の宅地分譲が進んでいるところが増えています。菊池校区や本郷校区だと西本郷・南本郷・甲条あたりが増えています。
地域活性化	大堰地区をもっと活気あふれるような地域にしていきたい。	活気あふれるような地域にしていきたいと考えており、その際は、皆様のお知恵もお借りしながらやりたいと思いますのでご協力をお願いします。
ふるさと納税	ふるさと納税の返礼品ではこういった物が人気なのか。	寝具や福岡県共通の返礼品である明太子やもつ鍋が人気のようです。
	ふるさと納税の返礼品はいくらぐらいのものなのか。	総務省が返礼品の調達にかかる費用の割合を寄附額の3割以下、送料や事務費なども含んだ経費の総額を5割以下とするルールを定めていますので、本町もその範囲内でやっています。
	今村天主堂のクラウドファンディングはどういった状況か。	今村天主堂の耐震化工事については、国・県・町の補助もありますが、地元の負担もありますので、費用負担の軽減を図るため、クラウドファンディング型ふるさと納税に取り組んでいます。平成29年度から開始し、毎年集まった額から経費を除いた額を今村天主堂保存会にお渡ししています。額については、多い年、少ない年ありますが、少しでも応援できればということで取り組んでいるところです。
自治会	地域の高齢化に伴い、回覧板の運用は変えられないか。	高齢化やコロナ禍において、回覧板を回すことが難しくなっていることは認識しており、現在は、電子回覧板として町ホームページに掲載したり、回覧する文書や回覧回数を減らしたりしています。各行政区内の独自の回覧もあり、回覧板を無くしてしまうことは難しいが、今後こういった対応・運用ができるか考えさせていただきたい。
枝豆収穫祭	枝豆収穫祭について、枝豆を購入するために並ぶが、列には子どもや高齢者もあり、熱中症を心配している。何か対策できないか。	ご指摘のとおりであり、今後検討させていただくが、例えばドリームセンターの1階ドリームホールの中で枝豆の販売だけ行うことも考えられ、冷房が効いた中で待機ができる。そういったことも含めて来年度に向けて検討させていただきます。

令和5年度 大刀洗町 町政報告会 まとめ

区分	意見等	回答
情報発信	情報発信について、町は様々なことに取り組んでいるが、高齢者等も含めて情報の取得方法が限られる方に対してどのように情報を届けていくかが課題だと思います。また、情報の取得方法を周知することも大事だと思います。	一つはテレビのKBCのdボタンで多くはないが町の情報を確認できます。スマートフォンをお持ちの方であれば、LINEで大刀洗町を登録してもらえば、プッシュ型で情報が送られてきます。また、電子回覧板では、紙の回覧板と同内容のものをホームページやスマートフォンで見られるようにしています。情報の取得方法の周知については、社会福祉協議会とも連携して周知していきたいと考えています。
空き家対策	床島区には管理がされていない空き家が多く、道路に樹木がかかって通りにくいところもあり、町でも考えていただきたい。	空き家の問題については、床島区だけではなく、全町的な問題です。基本的には、利活用できる場所は利活用していく。これは民間主導になると思いますが、町でも空き家バンクをつくっています。また、管理が全く行き届いてなく、台風時に心配になるような空き家もあります。そういう空き家については、特定危険空き家として法律や条例に基づいて必要な修繕なり取り壊しをしていただくように町で指導しているところです。また、道路に樹木がかかっているのであれば、伐採等を所有者の方に連絡を取ってやっていきたいと思いますので、町にご相談ください。
	空き家対策について、どのような取り組みを行っているのか。	空き家については、全国的に増加しています。全国平均に比べると、本町の空き家の率は低いが、行政区によっては、空き家が増えているというのが現状です。空き家についての基本的な考え方は二つで、利活用できる空き家は利活用をする、老朽化で危険な空き家については撤去をしようということです。しかし、日頃は使っていないけれども大切な思い出の物や仏壇があったり、今困っていないからとりあえずそのままにしているという方も多いので、利用できるときに利活用を進めていける方向で政策を作っていきたいと考えています。
人口	人口数には外国人も入っているのか。	住民基本台帳法の改正により、平成24年7月から住民基本台帳上の人口には、外国人数も含まれています。外国人数は現在500名程度です。
	大刀洗町の人口のうち外国人は何人いるのか。	令和5年7月末時点の人口が16,049人で、そのうち521人が外国人住民です。
ゴミ問題	外国人は今後も増えることが予想されるのか。ゴミの捨て方など課題があると感じるが。	増える傾向にあります。外国人の方に対する支援や地域の方との交流が持てず、相互に距離感があるまま生活されてあると感じています。MEGURUステーションが各校区にあります。MEGURUステーションでゴミの捨て方を教えることができないか考えています。
	MEGURUステーションがあり大変助かっている。試行錯誤されると思うが本格実施の決定はどのようにされるのかお聞きしたい。議会の議決が必要なのであれば、議員の方にもMEGURUステーションを見に来てもらいたい。	MEGURUステーションの今後のあり方について、アンケートをとったり、設置することで良い点悪い点含めその効果について検証するよう進めています。それを踏まえ、今後も続けていくのか町として判断をしていきたいと思っています。本格実施には予算も伴いますので、予算案として議会に提案し、議会の議決が必要となります。
	町とは別にペットボトルを回収している業者があるようだが、ペットボトルの包装ラベルをとらずに回収している。町の回収もそのようにできないか。	現在、各校区センターに資源を回収するMEGURUステーションを設置しています。そこでは、さらに分別を徹底してもらい再資源化を図っているところです。
	MEGURUステーションはいい取組だと思います。子どもや孫の意識も変わった。今後も続けてほしい。	現在、MEGURUステーションは社会実験ということで実施しています。確かに環境教育という面ではいい場になっていると思います。一方で、コストもかかっておりますので、費用対効果であったり、実際にゴミの減量につながっているのか等の検証は必要だと考えます。今、利用者のアンケート調査を実施しているところです。そういったことを踏まえ良い形で持続できるように検討していきたいと考えています。
	MEGURUステーションを利用するようになって、家族の意識が変わった。ゴミの減量化は住民一人ひとりの意識が変わることが一番大事だと思います。	現在、燃えるゴミの3分の1程度は生ゴミや紙ごみで、生ゴミの7~8割は水なので、それを取り除いて、燃やさない処分できないものだけ焼却処分し、それ以外はなるべくリサイクルに出すという意識を持つことがゴミの減量化につながると考えます。
	若い世代は共働きも多く、MEGURUステーションに持って行けないという声も聞きます。日曜日も開設してもらえないか。	MEGURUステーションの開設日等は、各校区で決めていただいています。校区によっては、休みなくやっているところもあるようですので、校区で協議していただければと思います。
	粗大ゴミについてはサン・ポートに搬入するようになってきているが、遠いため、久留米市の宮ノ陣クリーンセンターにも搬入できるよう交渉できないか。	ゴミの処理については、それぞれの自治体で処理するのが原則ですが、一つの市町村でゴミ処理場を作ることは、効率的にも金銭的にも難しいため、一部事務組合というものを組織してゴミ処理をしています。サン・ポートについては朝倉市・筑前町・東峰村・旧北野町・大刀洗町で利用しています。久留米市の宮ノ陣クリーンセンターについても久留米市外のごみを受け入れる余裕はないというのが現状です。ご理解いただきますようお願いいたします。
	小麦治の裏の道に空き缶やペットボトルの不法投棄が多いがどうかできないか。	現地を確認し、不法投棄禁止の看板を設置するなど検討します。
外国人の方にもゴミの出し方等の指導をしてほしい。	ゴミの出し方等については、雇用先の方に説明をし、ご理解いただいております。また、MEGURUステーションを利用していただいて、資源ゴミの回収方法を教えたり、地域の祭りに参加してもらったりという中で、地域との接点を広げていけないうことを考えています。	
環境問題	事業所からの排水がここ数年問題になっているが現状はどうなっているのか。	保健所と一緒に指導し、浄化槽の改修をやったが問題は解決していません。今、下水道につないでいただけるよう指導しています。改善するまで、保健所と一緒に継続的に強く指導していきます。

令和5年度 大刀洗町 町政報告会 まとめ

区分	意見等	回答
福祉	新聞・テレビで報道されているが、子どもから大人まで引きこもりが増えている。そういった方を町は把握しているか。	全国的にも8050問題として大きな問題となっています。子どもが不登校等であれば、教育委員会などがずっと関わっていきませんが、18歳を超えてからも継続的に支援する体制にはなっていない状況です。困りごとなどの相談があった場合には、社会福祉協議会や関係課で対応していますが、すべての引きこもり等の方の状況を把握できている訳ではないため、これからの大きな課題の一つだと考えています。
高齢者支援	子育て支援だけでなく、高齢者の支援にも力を入れてもらいたい。	高齢者の方がいつまでもお元気で生きがいを持って生活していただけるように高齢者の方を中心とした健康づくり、生きがいづくりに関して町として力を入れて事業を行っています。
農業政策	農業の振興についてお聞きしたい。	農業にはずっと力を入れて取り組んでいます。一番大きな問題は、後継者をいかに確保していくかであり、そのためには、儲かる農業をしていかないと考えています。町としても町内の担い手に対し、農地の集積を図るために新しい補助金をつくったり、園芸の施設の整備をする補助額を増やしたりしていますが、担い手の確保という面では、これからも取り組んでいかなければならないという状況です。
	農業は大刀洗町の基幹産業だと言われたが、農業従事者は高齢化も進み減少している。これからの農業を町としてどのように考えているかお聞きしたい。	農業従事者の高齢化と後継者が育っていないことが町の大きな課題だと認識しています。新規就農を進めるためには、儲かる農業をいかに展開していくかということや身近な成功事例が地域にあるということが大事だと考えています。同じような地域であっても北野町では、若い方の就農が増えています。解決策というのは難しい問題ですが、県や関係機関とも連携しながら取り組んでいきたいと考えています。
	農業について、農事組合法人栄田を組織し行っているが、高齢化でオペレーターがいない。農業サミットに参加したときに、石川県では、各所にある農事組合を地域でひとまとめに組織しているという話を聞いた。大刀洗町にもいくつかある農事組合をひとまとめにするなど組織規模を大きくするような考えはないか。	農業については、農業従事者の方の高齢化が進んでおり、後継者の確保、新規就農者の確保が農業における本町の一番大きな課題だと認識しています。その中で特に土地利用型については、オペレーターの通年雇用等も含め、ある程度の規模拡大をしないと難しくなっていくと思っています。県や関係機関とも協力しながら今後どのように展開していくか考えたいと思います。また、おそらくこの5年ぐらいが、今後の大刀洗町の農業の方向性を決める上で大切な時期になると思っていますので、いただいた意見も含めてどのようなやり方をすれば持続可能な農業を進めていけるか考えていきます。
	農業をしているが、肥料や農薬等の価格が高騰しており、従来の農業経営で今後やっていけるのかと思う。おそらく大規模の経営者はすごく経営が圧迫されていると思う。	農業情勢については、特にここ数年は、コロナ禍で消費が低迷している中で、ロシアのウクライナ侵攻等や急激な円安等もあり、燃料や肥料、飼料の価格が高騰し、農家の方々は経営的に大変厳しい状況が続いています。国・県、町も含めて物価高騰対策等取り組んでいます。今後、この情勢がどう続いていくのかによって取り組み方も変わってくるかと思っています。また、本町では、後継者の確保、新規就農者の確保が最大の課題だと思っておりますので、そのためにも儲かる農業をいかに確保していくか、JAや国・県の関係機関と一緒に取り組んでいきたいと考えています。
	日本の食料自給率は低いと、戦争等によりいろいろストップしたときに、従来の農業のやり方でやっていけるのか心配している。	飼料や肥料については、海外からの輸入に頼ってきたというのが今の日本の農業の現状であり、それが輸送等がストップしたときに、あるいは、価格が高騰したときに飼料や肥料をいかに確保していくかというのが大きな課題だと認識しています。町だけではできませんので、JAや国・県と連携しながら考えていかなければならない課題だと思っています。
	農業情勢は、高齢化に加え、生産資材が非常に高騰している。大刀洗町の農業を今後も継続して行くには、国・県はもちろん、町からも支援策に取り組んでいただきたい。	農業については、現在、燃料高騰、肥料高騰、資材高騰等大変厳しい状況であると思います。これは、町だけでは解決できませんので、JAや国・県と連携して農業振興に努めていきたいと思えます。
	上高橋大豆生産組合の組合員だが、大雨被害等もあり大豆の収穫量が減っている。以前は町で土壌改良材の支援をしてもらっていた。今後、大豆の収穫量の維持・増加をしていくため、再び土壌改良材の支援をしていただけないか。	農業は大刀洗町の基幹産業であり、農業振興が町として重要な柱だと考えています。大豆等についても、肥料・飼料等の価格が高騰している中で、どう収穫量を確保して収益をあげていくかというのは大きな課題だと思っています。国・県とも協議しながら必要な支援について検討させていただきます。
企業誘致	小郡市のことであるが、コストコはいつできるのか。	コストコがオープンするためには、都市計画法上いくつかクリアしなければならない点があるので、そこを一つずつクリアしている段階だと聞いています。
	働く場所の提供ということで、企業誘致はどう考えているか。働く場所があることで、転入者増、町の活性化につながると思う。	企業誘致による働く場所の確保は非常に大切なことだと考えています。ただ、町内には企業誘致できる場所がほとんど農地しか残っていません。近年の大雨を考えると、農地転用して企業誘致した場合に河川に対する負荷がかかりすぎる問題があり、現在、町としては、水害対策に力を入れています。
	町内に飲食店を増やして欲しい。	大刀洗はすごくおいしい農産物を生産しているので、それを地元で食べられる場所が町内あちこちにあるとすごく魅力的な町になると思っています。すぐには結果がでないかもしれませんが、今後考えていきたい分野の一つです。
	もっと企業誘致を進めてはどうか。	企業誘致は、働く場所の確保という意味でも、税収の増加という意味でも大変重要な施策の一つです。企業誘致のための用地については、現在町内では、農地を転用するしかなく、そうした場合には、近年の大雨を考えると、農地が持っている保水機能であったり、遊水機能が失われ、大刀洗川や陣屋川の下流に負担がかかる可能性があるため、農地の転用は難しい状況です。企業誘致については、災害との兼ね合いもあり、現在は、河川の整備等を先行して行っているのが現状です。
物価高騰対策	増税、コロナ禍、物価高騰で町民も非常に厳しい環境に置かれている。町の基金残高もあるようなので、大刀洗町独自の取り組みを行っていただきたい。	9月1日から使用できるプレミアムクーポン券を全世帯に配布していますので、そういったものをご活用いただければと思います。

令和5年度 大刀洗町 町政報告会 まとめ

区分	意見等	回答
道路管理	新しくアパートが建設される場所に、セットバック等で道路の幅員を広げる等できないか。	道路幅員について、今の町道の幅員基準（4m）に満たない（離合等できない）道路については、セットバックをしていただくようお願いしています。幅員基準を満たしている道路でセットバックをするには、用地買収が必要になります。現状難しいが、町道の整備について、時間をいただき、検討していきたいと考えています。
	菊池小学校隣の桜並木について、地元で剪定等やっているが、樹齢数十年であり、朽ちて危険な箇所については、役場で切ってもらえないか。	現地を確認し、どのようなやり方が一番地域の方のご負担がかからず、危険性がないような形で残していけるのか検討させていただきたい。
	道が狭く、救急車もごみ収集車も入れないため、道路拡幅を数年前に要望を出していた件がいまだに実施されていない。	具体的な要望箇所を確認させていただきます。
	建設課に対する区長要望は、災害の発生や予算等の制約もありその年度にできなくても、翌年度に実施するなど事務の承継をお願いする。できない場合はきちんと説明をしてもらいたい。	建設課に伝え対応していきます。
	用水路に人や車が落ちたりする危険があるため、フェンス等の設置をしてもらえないか。	具体的な要望箇所を確認し検討させていただきます。
	保育園の西側に鋭角に曲がった道路があるが、危険な場所なのでガードレールを設置してもらえないか。以前建設課に相談したが、県の許可がおりないので設置できなかった。	場所によっては、河川管理者の許可が必要になるため設置できる場所なのか現地を確認させていただきたい。
	歩道の草刈りについてだが、本郷環境が刈っているが、高齢化も進んでいるため、除草剤を撒くなど町で対応してもらえないか。久留米で除草剤を撒いているのを見た。	通学路や県道の草の除草について、農地が隣接していたりするので除草剤を撒くことができるのかは地域の皆様の理解も必要だと考えます。久留米で県土整備事務所がどのように対応しているのか確認させていただき、どういう対応ができるのか地域の方にも相談させていただきたい。
	西栄田集落センター前の道路は、スピードを落とさず通行する車が多く非常に危険なため、何か対策できないか。	車のスピードを抑えるためのやり方として、制限速度を低くして速度違反の取締りをしてもらうとかバンプ（障害物）を設置して速度を落とさざるをえないようにするとか、ポールを立てて道幅を狭めてスピードを落とさせるなど様々なやり方があります。しかし、地元住民の方にとっては使いづらくなる面もありますし、バンプ（障害物）を設置した場合は音がするため、近所に住んでいる方には騒音も問題になります。地域の方の理解が必要になりますので、地域と一緒に考えていければと思います。
	町道について、もっと利用しやすいよう整備してもらいたい。	道路整備については、予算の制約もあり、町内25行政区の中で優先度の高い場所から整備を進めているところです。
	高樋区内には緊急車両も入らない狭隘な道路がある。毎年建設課に要望書を出しており、ちょっとした舗装等はやってもらっているが、道路の改良ができていない。狭隘道路の改良を要望します。	狭隘道路の改良については、他の行政区からも要望をいただいているところです。特に高樋区はメインの道路の幅員が狭い状況です。しかしながら、家が建っているため、用地買収をして、その補償をしてとなかなか難しい点もございますので、そこは要望をお伺いしながら、町として今後どうやって、道路改良を進めていくのか、優先順位の考え方等を整理させていただければと思います。
役場前の県道は、歩道があるのに草が生い茂っており通りづらいため、草を刈ってもらえないか。	歩道も含め県道等に生えている雑草については、県に草を刈るよう要望していますが、県も予算の制約や優先箇所等もあり、すぐに対応できる訳ではないため、引き続き何度も丁寧要望していきます。	
今区の中の道路に「あぶなかばい」という表示をしてもらっているが、表示が薄くなってきているため塗り直してもらいたい。	現地を確認させていただいて、対応を考えます。	
民間業者が住宅を造成する際に、防火用水を作るために土を掘ったら、水が溢れてきたらしく道路が壊れている箇所がある。対応してもらえないか。	現地を確認させていただいて、対応を考えます。	
大堰駅踏切	大堰駅踏切に信号機をつけるとのことだが、信号機をつけただけで危険は解消されるのか。	信号機をつける前提として、道路法線をミニストップ側に半円形に曲がるように移すことを検討しています。
	子どもが通学で大堰駅を利用してるが、踏切箇所が危険なため改善されないのか。	大堰駅踏切の交差点は、町や地元から県に要望を続け、ようやく昨年度に福岡県の新規事業着手箇所に採択されました。今、当該箇所に信号機を設置できるよう警察と県土整備事務所とどう道路法線にすれば信号機を設置できるか協議を進めてもらっています。
国道322号	322バイパスの拡幅工事について、中学校付近の土地買収は終わっているのにまだ舗装工事がされていない。通学に危険なので早く工事をしよう県に要望してもらいたい。	県の計画もあると思いますので、工事スケジュール等の確認や協議をさせていただきます。
	国道322号は国の事業だと思うが、いつまでかかるのか。	国道322号は、まず現道拡幅部分から工事を始めており、最後の箇所が令和8年11月からの工事という計画です。
	国道322号バイパスを作ることにより、大雨によって冠水した場合に水が抜ける場所がなくなったりしないか。	バイパス部分が高くなり、水の流れが変わってくると思いますので、極端に一箇所に負荷がかからないような方法を町としても県に要望していきたいと思っています。地元の方からも地域の情報・状況をよくお聞かせいただきたいと思います。
調節池	水害対策の調節池について、災害時以外の活用方法は考えているのか。	調節池について、災害時以外は公園やグラウンドのような有効活用をすべきだと考えています。ただし、地下水位の状況や調節池の形状にもよりますので、調節池の実施主体である県に有効活用方法について町から要望・協議させていただきたいと考えています。
	調節池について、作った後の管理はどうなるのか。地元で管理するのは難しいため調節池を作ることに反対です。それよりも橋の改修をお願いしたい。	橋の改修の必要性については、県も認識しているが、どうしても街中の改修になるため少し時間がかかってしまいます。それと平行して調節池も県が計画しています。調節池を県が管理するのか、町が管理するのか、地元へ管理を委託するのかについてはこれからの協議になります。地元の意見については、県に伝えていきたいと考えています。
	全国的に公園遊具が撤去されている中、大刀洗公園に遊具を設置してもらったことに感謝している。利用者も多いため、メンテナンスもお願いする。	昨年は、大堰公園の遊具を更新し、今年度は運動公園の遊具更新を予定しています。

令和5年度 大刀洗町 町政報告会 まとめ

区分	意見等	回答
公園	大刀洗公園にイベント広場があるが、夏祭りでステージとして大型トラックを入れようとしたが、地盤が弱いと難しいとのことだった。イベント広場を活用するためにももっと使いやすくしてほしい。	ハード面で解消できるものについては、要望を挙げていただいて建設課で実施できるか考えたいが、今年度すぐにはできないので、将来的な課題として検討させていただきたいと思います。
	大刀洗公園をもっと有効活用できないか。	大刀洗公園については、町としてもさらに活用していきたいと考えています。
	自分のことは自分で健康維持することが大事で、大刀洗公園にはウォーキングをしている人も多い。大刀洗公園に健康遊具を設置してもらいたい。	大刀洗公園の遊具をリニューアルする際に、西側の方に数は少ないがストレッチができる健康遊具を新しく設置しています。増設については、今後検討させていただきたいと思います。
下水道	下水道の整備が早く、町内一斉に行われたため、老朽化も一気にやってくる。災害時の対応も含め下水道事業の促進をお願いしたい。	メンテナンス等は常に行っているが、一気に改修が必要な時期が来たときに対応できるように下水道の修理をするための基金を毎年積み上げています。
	下水道の耐用年数は何年ぐらいですか。	機械等については、悪くなったり修繕が必要な部分が出てまいりますので、その都度、管理を委託している業者からの助言等を踏まえて随時更新をしているところです。建物についてもコンクリート製なので50年近く保つと思います。管路についてもまだまだ保つと思います。
通学路	通学路に歩道やガードレールがない。事故が起きた後では遅いので、今後の見直しは。	大刀洗には歩道がある道路が少なく、特に町道については、歩道が整備されていないのが現状です。特に菊池校区については、住居が建っているため、道路の幅を広げて、歩道を整備することは現実的には難しい状況です。現在は、小学校区単位で、先生・PTA等で通学路を歩き、危険箇所の点検を行い、改善できる箇所はできることから改善を図っています。また、見守り隊の方にも協力いただいております。今後とも子どもの通学時の安全に努めていきます。
	毎朝、子どもの通学時の見守りを行っているが、車のスピードが速い。特に朝の時間帯は車も多く、大型車も通る。時間帯で車両を規制する等の対策を考えてほしい。	500号線の抜け道になっており、特に500号線が渋滞している時間帯は交通量が多く、警察にも取り締まりを重点的にお願いしている場所です。地域住民の方も使っている道路なので、地域住民の方の理解がないと難しいが、やり方としては、例えば、スピードを落とすということであればバンフ（障害物）を道路に設けてスピードを落とすというやり方もあります。ただし、音がする場合があるため、周辺のかたの理解がないと難しいと考えます。もう一つは、柔らかいポールで何か所か幅員を絞るという方法もありますが、普通に使う分には、離合等で不便になってしまいます。地域住民の理解が得られれば、行政としてはこういったやり方もありますが一長一短な面もありなかなか難しい状況です。そのため、現在は警察に巡回・取り締まりを行っていただいているのが現状です。
	道路の危険な箇所には「あぶなかばい」の表示をしてほしい。通学路にしてももっと通学路であることが分かるような表示をしてほしい。	通学路については、危険箇所の点検を行い、改善できる箇所はできることから改善を図っていきたくて考えています。
	通学路であり30キロ規制の道路だが、スピード超過の車が多く、事故が起こってからでは遅いので、通学路の安全確保をお願いしたい。	道路沿いに家がすでに建っているため、道路を広げて歩道を新しく整備することは難しいが、警察に取り締まりの強化等を行っていただいています。スピードを出させないためにするハード的な部分はやろうと思えばできる部分はあります。例えば障害物（バンフ）を置いてスピードを落とさないと通れなくなるとか、ポールを立てて道幅を狭くしてスピードを落とす方法等ありますが、地域の方の通常の通行に支障がでてしまうため、地域の意見も聴き、引き続き検討課題とさせていただきたいと思います。
	通学路に歩道の整備をお願いします。	歩道の整備が十分できていないというのが現状です。歩道がある程度整備されているのは、大きな国道や県道であり、県道にも整備されていないところは、期成会等を通じて歩道の整備をお願いしています。通学路については、利用する車も多く、速度を30キロ制限にしていただいているが守られておらず、警察に取り締まりの強化等を行っていただいています。道路沿いに家がすでに建っているため、道路を広げて歩道を新しく整備することは難しいと考えています。教育委員会でも毎年、保護者の方と先生方で通学路と一緒に歩いてもらって危険箇所をチェックしたりとできることからやっていますが、問題としては認識しているので、今できることから進めていきたいと思います。
	大雨時に流れ着いたゴミが通学路に溜まっていて、子どもが通学時に危険だったが、通学路の変更はできないか。	通学路については、保険の関係もあり通学路として指定しなければなりません。通学路を変更したい場合は、PTAも含めて通学路変更を教育委員会に申請していただければ検討させていただきます。
	通学路の安全確保をお願いします。	町内には歩道が設置されている道路が少なく、現状として「見守り隊」の皆様が大変お力添えをいただいております。通学路については、PTAの皆様と危険な箇所についてチェックしたり、路側帯等消えている箇所については、県土整備事務所に要望をしております。
	通学路になっているところに工場ができたが、通学に危険なため、トラックの出入りは極力さけてもらうよう町からお願いしてもらえないか。	通学路なのでお願いはできると思いますが、最終的には民間企業になりますので、応じていただけるかは約束はできません。
	中学生の通学路の件で、横断歩道はあるが、横断歩道がない方を通って通学しているため、通っている方にも横断歩道を設置してもらえないか。	そもそも横断歩道を設置できる場所なのかの確認も含め警察と協議をさせていただきます。
以前建設課には言っていたが、通学路に新しくカーブミラーを設置してもらいたい。	現地を見て建設課に確認させていただきます。	
小中学生の体力的なレベルはどうか。	体力的なものについては、コロナ禍もあり全国的に下がっていますが、本町においては、体育的な取組により、そこまでの影響はないと感じています。	

令和5年度 大刀洗町 町政報告会 まとめ

区分	意見等	回答
学校教育	不登校生徒が多いように感じるが、対策をお願いしたい。	不登校については全国的に問題となっています。中学校では、適応指導教室を設置し対応しております。現在、中央公民館横の健康管理センターを改修しており、不登校対策も含めた相談支援体制の強化を図る拠点である「こども家庭センター」、「教育支援センター」を設置します。
	小学校の統合の考えはあるか。	町内の子ども数は減少傾向にあったが、平成23・24年ごろを底に現在町内の子ども数は増加しています。また、小学校というのはもちろん子ども達の学びの場でもあるが、地域の方々にとっても大切な思い出がある場なので、それを一気に統合するというのはいけません。子ども達の教育上、統合しないと教育の観点からもデメリットが大きいというくらい子ども数が減れば、統合も考えなければなりません。今町で行っている「よかまち創世プロジェクト」等は、基本的に4つの小学校を維持するためには何をすればいいかという観点で作っています。今の時点では、小学校を統合する計画は全くありません。将来的に子ども数が減ったら、その時は改めて考えないといけないと思いますが、そうならないように今取組を進めているところです。
	以前は、小学校4校の生徒が集まっていた行事（水泳大会やキャンプ等）があったが、今はそれらがなくなってしまって、中学校に入るまで、他の小学校の生徒と顔を合わせる機会がない。他小学校の生徒との交流は貴重な経験になると思うので、また実施していただきたい。	コロナ禍前は、小学校5年生がふれあい体験活動という宿泊体験を行っていました。このような体験活動は重要であると考えますので、自然体験活動等をどうにか計画できないか各小学校と協議していきたいと考えています。
	学校では電子黒板を使用されているようだが、手書きの大切さ、手書きのぬくもりも子どもに伝えるべきだと考える。	電子黒板は子ども達に先生の説明がより分かりやすくなるように使用しています。手書きすることの大事さも理解しており、書く指導も充実していきたいと考えています。
	小中学校の学力向上にはどういう取組が有効だったのか。	1時間の授業のサイクルを、まず教えること、そして考えさせること、そして振り返りという3つの流れを必ず授業の中に入れる授業改善に取り組んでいます。また、学級づくりで子ども達が自分たちでやれたとき、できたときにきちんとそれを評価していくという指導を行っています。「教えて考えさせる授業」と「効果のある指導」の効果がようやく実ってきたと思われま。
	中学校の部活の件で、3年計画ぐらいで部活の地域移行というを国が推進しているが、大刀洗中学校ではその経過はどうなっているのか。	部活の地域移行をした場合の指導者確保や活動場所確保といった課題もあります。大刀洗中学校では、各部活2名から3名の指導者がおり、交代で指導するなど、教職員の負担増とならないよう取り組んでおり、現在のところ現状のまま進めていけると思っています。今後、生徒や保護者の意向も踏まえ、必要であれば地域移行を考えなければならないと思っています。
	町内各小学校・中学校でいじめはあるのか。	からかいや悪口といったことで子ども達がいじめと感じるものはすべていじめであると捉えながら、また、いじめというのはいつでも起こりうるという危機感を持って、教職員は子ども達を細かく見ていきながら、気になることや子ども達から相談があったらすぐに指導するようにしています。
	学校の学力は上がってきているとのことだが、体力面はどうか。	子ども達にとって、心身共に育てていくことが大事であり、すべての面においてバランスのよい力を付けていきたいと考えています。各学校において「一校一取組」というのを実施しています。例えば、縄跳びや持久走、体力テストの結果明らかになった課題について取り組んだりしています。
	中学校の学力について、学校現場でどうやって学力が上がったのか具体的に聞きたい。	「教えて考えさせる授業」による授業改善の成果だと考えます。1時間の授業の中で、基本的なことをまず教えて、そして考えさせる（インプット）。そこから学んだことを今度は授業の後半にやってみたり、計算したり、説明したりする（アウトプット）。この授業の中での一連の流れが定着してきたと思っています。
	子どもの英語力を上げるための取組みを聞きたい。	英語については、以前は、書くことが中心だったと思いますが、今は、話す（アウトプット）方が重要視されるようになりましたので、そういったスピーキングを中心に取り組んでいるところです。まだまだ結果として出ていませんので、授業を充実させ、英語をより理解をして話すことができる子ども達を育てていきたいと考えています。
子育て支援	不妊治療を含め出産の段階からの支援をしてもらいたい。	現在、伴走型相談支援ということで、妊娠期から出産、子育てに至るまで、保健師が訪問し、相談を受けたり、様々な支援制度を説明するようにしています。また、保健師の伴走型相談支援を受けていただくことを前提に妊娠が分かった段階で5万円、出産した後に5万円を支給する支援もしています。不妊治療につきましても、様々な支援策が徐々に増えていきますので、力を入れて取り組んでいきます。
	大雨災害時に学校が臨時休校になったが、その際の学童保育所はどういった対応をしているのか。	災害で学校が臨時休校になった場合は、学童保育所での受け入れも行っておりません。大雨や台風での臨時休校ですので、そういった危険な状況では基本的には学童保育所も受け入れないことになっています。今のところ利用者の保護者等からそういった意見はありませんが、そういった場合の対応について意見等があれば、他市町村の状況等も調査して検討させていただきたい。
	保育所や学童保育所が整備され、地域で遊ぶ子どもを見なくなった。もう少し、地元で子どもの顔が見れるようにして子どもを含めた地域のコミュニティを大事にしたほうがいいのではないか。	子どもの遊びの場や内容は、変化してきたと考えます。地域においても、チャレンジ教室やアンビシャス広場等の子どもの居場所づくりを通して、コミュニティづくりに取り組んでいただいているところです。
保育園	大堰保育園の件で、大堰の方が子どもを入園させたいけれど、他町村から来ている子どもがいて入れないという話をきいたが、自分の町の希望する保育園に行けるとするのが基本ではないかと思う。	他校区の方が入園できなかったという状況ではないかと思いますが、確認させていただきます。→入園申請で、その家庭事情等を点数化して、順位付けした結果です。
	保育園が2つ開園したということだが、どこにできたのか。	一つは、大刀洗公園敷地内に企業主導型の保育所ができました。もう一つは、北鶴木区におおぞら保育園ができました。

令和5年度 大刀洗町 町政報告会 まとめ

区分	意見等	回答
児童遊園	大きな公園はあるが、付近に小さい公園がないため、公園設置できないか。	行政区・地域に形態は違うが、お宮だったり、集合住宅を建設するときに都市計画法の中で、小さな緑地を作るか、児童遊園を作るようになっており、遊具を設置していたところもあったが、老朽化に伴い撤去しているのが現状です。町としては、撤去について全額補助をしており、新たに設置したり、修繕する場合についても町の補助制度を作っているため、行政区で要望して補助制度を活用していただきたい。
	ゆめマート東側に遊具（ブランコ、鉄棒）が設置されているが、長い間使われてなく、錆びた状態で見たくもよくないためどうにかできないか。	行政区で設置・管理しているものであれば、行政区内で協議していただき、必要ないのであれば、町子ども課子育て支援係に申請することで撤去に対する補助があります。また、新しく設置する場合も全額ではないが補助がありますので、区内で協議いただき、その必要性を判断してご相談いただければと思います。
生涯学習	公民館活動助成金について、毎年同額で全体の予算額が固定されている。町は人口も世帯数も増えているので、全体の総額を増やすべきだと考える。	生涯学習課で検討させていただきたい。
	小学生の相撲大会はなくなったのか。その代わりにニュースポーツ大会なのか。	相撲大会については、コロナ禍での開催が難しかったのと、指導者がいなかったり、男女共に参加できるスポーツができないかといった様々な意見がありましたので、検討した結果、相撲ではなく新たなスポーツということで、8月26日にモルックというスポーツを行いました。160名以上の参加があり、小学校間の交流や保護者間の交流も含め、地域づくり人づくりに活かしていけるよう期待しています。
	下高橋官衙遺跡で定期的にグラウンドゴルフをやっており、草も刈って整備している。他の利用者がサッカー等をするのにスパイクを履いてやっているため、グラウンドが荒れて困っている。	下高橋官衙遺跡公園は、一定面積を占有する使用をする場合は事前申請が必要です。申請時に使用方法等を確認して許可や制限をするなどしていきたいと思います。
	下高橋官衙遺跡公園に10本ほどの桜が植えてあるが、全然育っていない。	昨年度から肥料をやったり、植木業者に相談し対応を考えています。今年も肥料の予算を確保しています。もうしばらく様子を見てもらいたいと思います。
その他	町内に小さくてもいいので温泉施設ができないか。	現在は、社会福祉協議会で福祉バスを利用し、各地の温泉を回ってもらったりしていますし、近隣に温泉が結構あるため、そちらのご利用をお願いしているところです。いただいたご意見は今後の参考にさせていただきます。
	大刀洗町に転入した者ですが、以前住んでいた市は、少子化のために学校再編でもめているようです。少子化がいろんな地域で問題となっている中、大刀洗町が子どもの数がそこまで減っていないというのは、すごく大きなことだと思います。また町長がこうして町民に対して説明をし、意見交換をする、住民の意見を聞く機会が設けられることも本当になくはないことなので、素晴らしい取組だと感じています。今後もこういったことを続けていただきたい。	これからも子育て支援や対話を大切にした町政に力を入れていきたいと思っています。